

---

宮 嶋 怡 正

議長（村松 積） 次に、4番、宮嶋怡正君、質問を許します。登壇願います。

4番（宮嶋 怡正） 4番、宮嶋怡正です。

最初に、伊藤村政5期目のスタートを切って早3カ月目となります。村長自ら言っていますように、日々新たな発想で新しい風、新しい思考で下條村がさらにグレードアップをして、さらに安心をして住民が生活をできる村づくりに向けて、邁進されることを切望をいたすものであります。

私は、先に通告してありますように、2つの質問をいたします。

最初の質問といたしましては、歩道の安全確保について質問をいたします。

以前より懸案となっておりました冬期間、積雪のあったときに村道23号線大なぎ地籍のパイプでしきった歩道の安全確保に向けて解決をするために、さまざまな方法を模索してきましたが、今年の1月から2月の数回の積雪の時に、歩道に車道からの除雪された雪が積み上げられまして、ご承知のようにあの場所は1日中日陰のために、それが凍結をいたしまして、春先までやむなく危険な車道を使つての通学となりました。

そこで今年は1つの方策といたしまして、雪かき隊なるボランティアのグループを作りまして、歩道の安全確保に向けて取り組んでいく計画を進めておりますが、より雪かきがスムーズに行えますように、歩道に除雪機を入れるように、歩道の道幅の拡幅などの整備に向けての見解をお聞きいたしたいと思ひます。

それとせつかく歩道の雪をかきましても、後から車道を除雪した雪が歩道に押し寄せたままでないように、業者に指導すべきだと思ひます。

2つ目の質問ですが、村道の法面の安全点検の実施についてであります。

村道23号線大なぎ地籍のモルタル吹き付けが、表面が部分的にはがれたり、草木が茂っているところが見受けられます。モルタル吹き付け部分と、それより上段の浮き石も見受けらるので、落石などの危険性があるかどうか、安全点検の実施についてお聞きをいたしたいと思ひます。

以上で私の質問を終わりといたします。

議長（村松 積） 伊藤村長、答弁願います。

村長（伊藤 喜平） 宮嶋議員の質問にお答えいたします。

最初に冬期間の歩道の安全確保についてということでございます。

ボランティア隊を結成していただくそうでございまして、大いに期待しておりますところでございます。

結論から言うと、あの区間確かに1日中日が当たらない区間でございます。そういうところは下條村にもいくらでもございますけれども、あそこは特に交通量が激しいということでございます。

なかなかこの地方は、北信地方と変わって、北信地方は全然もう道路の形態が違うわけでございますけれども、南信地方はどこいってもああいうところがあるわけでございます。

雪かきにつきましては、山側の方にあの区間だけはきちりしていただきます。

そういうことでこれから業者の皆さんにも、業者の皆さんも一生懸命やっておってくれるんですけども、あの区間だけではそういうことでやってまいります。

それからこの吹き付けがはがれるじゃないかということでございますけれども、私も建設資材を今でも、昔やっております、今でも天竜川でやっておるわけでございますけれども、モルタル吹き付けというのは、あなたもご承知のことだと思っておりますけれども岩石の、道路を造るときはこの道路ならこう配はどのくらいに切つていいよという道路構造例というのがございます。それに従って、県にそれが下りてきて、県から補助金もらう場合にはそのとおりに従ってやるわけでございまして、例えばここにもありますけれども、砂の場合は1m以上5m未満は1割5分だとか、砂質土は6分だとか、それから転石混じりのあれは3分だとかいうふうに決まっておってそれに基づいてやるわけでございます。

そうすると切る、それからさっき浮く石が見えたというんですけれども、浮き石はいつも点検しておるが、見えるようなところはあるか。よくまた聞いて見えるようなところに浮き石はないと思います。徹底してやっておりますので。

それから草、確かにそうでございますけれども、あの水抜きのところ草があったり、それから真っ平らに切れんわけでございまして、こんなようなところにあるとここに落ち葉がたまってきて、草なんかが生えるということがあって、外から見るともう今にも崩んできそうじゃないかと思っておりますけれども、この前も振興課でやって、まだ2～3本木が残っておったけれども、きれいになっておると思います。

私の知っておる限りだと、吹き付けというのは、最低モルタル吹き付けというのはコン

クリートにビリ、一番売れないビリを入れたりして、何かその上からバーと吹いたときにだれてこないように、なかなかあれ技術が難しいわけでございますけれども、やると。

昔は、それで最後の仕上げをビリができるだけ少ないので、1回仕上げを。今それ全然やらないそうでございますけれども、仕上げを吹いて形を整えたということでございますけれども、基本的には8cm以上あるということ。

それから今はがれておるのは、最後にこの仕上げの、ちょうど左官屋さんでいうと、こう仕上げのコテがありますけれども、あの部分が確かにはがれております。あれ私の日曜日の散歩でよく阿智川を通りますけれども、そういうことでまだまだそんなに心配することはないわけでございます。

この前も振興課の皆さんと阿智、泰阜とそろって行きました。大久保の半ばから始まって、泰阜の村中でございますけれども、こんなオーバーハングになったところもありまして、「おい、今に来るんじゃないか」と言うんですけれども、それまた1回見てきていただくと、そんなに心配せんでも大丈夫かなと思っております。

どちらにいたしましても、これは公共の交通の用に供するとことということになると、これは管理者責任ということが非常に問われるわけでございますので、このことにつきましては特に浮き石、このことについては徹底して振興課の職員が、南の沢やそういう林道は外注でやりますけれども、主要道路については職員がきっちり見回っておるつもりでございます。

またぜひ見えたところが仮にもしあったとしたならば、今日の帰りでも結構でございますので、ご指示いただければ近々にやるつもりでございます。

以上で雪も全町村一緒に降りますし、なかなか朝のうちにしゃーときれいにかいてやってしまえということはこれは無理なことでございますので、業者の皆さんも本当に一生懸命やっておってくれるということを感謝申し上げますとともに、本当にさらに子供さんたちが安心して帰れるような通学道路になるように、また一生懸命頑張っていくつもりでございますので、ご理解いただきたいと思っております。

以上で終わります。

議長（村松 積） 4番、宮嶋怡正君、再質問ありましたら。4番、宮嶋怡正君。

4番（宮嶋 怡正） 歩道の道幅の拡幅などの整備についてであります。

村の導入した除雪機が入れるような整備をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

議長（村松 積） 伊藤村長。

村長（伊藤 喜平） 今は一時的には土留めはしてございます。

除雪機を下から持って行って、やっておる間にあのくらいはスコップでやれば取れてしまうと思うんですけれども、そういうことになると、なんでも村の除雪機をやると陽阜に何台、入野に何台、消防団みたいにやらにゃいかんわけでございますけれども、やはり雪道はみんながかいて、そしてみんなで助け合ってやると、これも教育の1つの姿でもあるし、コミュニティーの醸成の仕方でもあると思います。朝早くから出て行って、少しみんな雪かけてやってやるというのも1つのことじゃないかと思います。

なかなか除雪機は貸せよといえはいくらでも貸しますけれども、あまり深刻に考えないようをお願いしたいと思います。

議長（村松 積） 4番、宮嶋怡正君、よろしいですか。

以上で日程第3、一般質問を終わります。

これから暫時休憩に入るわけでございます。

傍聴人の皆さん、第3回定例議会を傍聴していただきまして、大変ありがとうございました。

我々議会も定数が削減になっております。頑張っておるわけでございますけれども、村民の皆さんの信託に応えるべく今後も頑張っていきたいと思っておりますので、今後も機会あるごとに議会の傍聴をお願いできたらいいのかなというように思っておりますので、ご理解をお願いしたいと思います。

それでは暫時休憩に入ります。

再開を1時5分ということですので、よろしくをお願いしたいと思います。